

江田島市議会議員アンケート

実施日 平成24年9月4日
提出期限 平成24年9月20日
回答数 19人（現職議員全員）

【質問】

「議員定数」について、お尋ねします。具体的な議員定数は、何人だと思いますか。その理由をお書きください。

1 議員定数

- (1) 14～16人 1人
- (2) 16人 2人
- (3) 18人 12人
- (4) 18～20人 1人
- (5) 20人 2人
- (6) 25人 1人

2 1の理由

- (1) 14～16人 1人
 - (ア) 類似した市町と比較したら16人
 - (イ) 議員一人当たりの活動面積からは14人

- (2) 16人 2人

ア 議会は、立法府の役割も担っていかなければならない。昨今の緊縮財政の中、議員定数は少数精鋭が基本である。竹原市の人口29,000人、議員定数14人。大竹市の人口28,000人、議員定数16人である。本市の人口、7月現在約27,000人。よって議員の数は、16人が妥当と考える。

イ 全国他市の同規模自治体の議員定数、人口、合併年数等を考慮し、16人とする。

- (3) 18人 12人

ア (ア) 市の人口減により削減

(イ) 近隣市町の状況や社会情勢を鑑みて削減

(ウ) 行政改革が従来にも増して必要になっている今日、実効的な行政改革を住民の理解と協力を得て進めていくために、議員自らが率先して、定数削減を実行することの意義は大きいと思う。

イ (ア) 県内市の4万人以下の市は、庄原市20人、大竹市16人、竹原市14人、安芸高田市18人であり、安芸高田市を参考にして18人

(イ) 江田島市議会には、常任委員会が3つあり、1委員会を6人とし、6人×3委員会＝18人

- ウ (ア) 県内の市町において、人口、面積が近い安芸高田市が18人であり、これを参考に考える。
- (イ) 国、地方問わず歳費削減が必要である。このような現状では、住民の理解を得ることは難しい。
- エ 今の人口減でいけば、2人減が良いのではと思う。2人減になれば、住民の声が届かないということはあるが、現有議員がもう少し動けば良いと思う。今の定員で、小選挙区だけの話しかしなのはどうしてか？
- オ (ア) 江田島市の人口の減少は、毎年約500人減少して、4年間で2,000人にもなる。議員定数も人口減に比例して、現在20人の1割に当たる2人減とした。
- (イ) 県内の人口類似市と比較すると、まだ議員数は多いが、本市は島しょ部で、集落が自治分散している特殊を考慮して、人口減少の比例で2人減とした。
- (ウ) 18人議員であれば、現在の3常任委員会は、6人ずつの委員で構成できる。
- カ 議会の役割である
- (ア) 市民の意見を広く行政に反映させること
- (イ) 行政監視機能を鑑みると議員数が多い方がよい。しかし、県内人口類似団体の動向を見ると、現行定数20人は市民の理解が得られない。市民の理解と議会の機能維持を考慮すると定数18人が妥当である。
- キ (ア) 江田島市の人口は、26,249人(H24/8)と、合併時より6,000人減少している。人口減少傾向は止まらず、併せて財政規模も縮小せざるを得ない。江田島市全体を見ると、少子化をはじめ、ほとんどが縮小傾向にある(高齢者を除く。)ので、議員定数も1割程度減らすのが良いと思う。
- (イ) 広島県内の市勢の似かよっている大竹市、竹原市との議員定数を比較して、2人減が適切かと思う。
- ク (ア) 人口減少 平成24年5月末現在26,236人。県内でも減少率がトップで、年間400人前後が減少しており、今回選挙時には、26,000人を切る可能性が十分ある。前回選挙時に比べ、2,000人程度減少しており、市民の理解も得られない。
- (イ) 近隣自治体状況 今回の議会改革の勉強会において、近隣の自治体の状況も参考に定数を定めるべきで、一市だけ突出しないように注意すべきである。竹原市議員定数14人、一人当たり2,050人、大竹市議員定数16人、一人当たり1,768人、江田島市議員定数20人、一人当たり1,312人、この状況で定数減を行えば、市民の声が聞こえないとの議員の声があるが、議員の能力を問われる発言で、市民から疑問視されかねない。
- (ウ) 全員協 議会改革で検討して、1年以上たっており、いつまでも先延ばしするべきではなく、議員全員の評価につながる問題であり、最終的には全員協で決める事案である。
- ケ (ア) 人口減少、有権者減少
- (イ) 他市との推移
- (ウ) 世論
- コ 江田島市も人口減で、財政収入も少なくなり、職員数も少なくなっているため、議員も定数減しなければいけない。
- サ 議員定数は、本市の人口、財政力、類似団体との比較、産業構成と所得水準等、総合的に判

断すべきである。議会は「批判・監視の府」であり、監視機能を有効に発揮できる定数が必要である。また、行財政改革の一環として定数削減、身を切る改革を行い、住民意向の反映への政策の立案形成、議会の本来的機能を十分に発揮できる議員定数にすべきである。これらを勘案し、本市の法定定数は26人であるが、議員定数は18人が適当であると考えている。

シ 竹原市、大竹市を参考に18人に決めた。

(4) 18~20人 1人

市民感情も考慮すると、執行部にならって議会も定数削減により経費の節減に努めるべきとの考えもあるが、議員定数削減のメリット、デメリットを比較した場合、市民にとって経費の節減効果より、民意の反映や監視能力の低下などマイナス面の方が大きいと思われる。削減が、住民の望むものであれば別だが、人口の減少と他の市町のみ状況のみを理由にやみくもに議員定数を減らすだけでは、議会改革として大きな効果は期待できず、何のために削減するのか目的がよく分からない。いずれは、その時期も来ると思うが、先進地の例にもあるように、定数削減のみにこだわらず、広く市民の意見も聞きながら、結論を急がず慎重に進めていくべきと思う。すでに合併前と比較すると、現在は約1/3の議員数になっており、一度削減すると元に戻すことは困難で、今後、議員数の大幅な削減が進めば、一人の議員が複数の委員会を兼務するなど、委員会活動についても影響が出る可能性もあるし、あまりに狭き門は、議会の閉鎖性を強めるだけでなく、新しい有能な人材の参画の妨げにもなる。よって、現状の20人又は削減するとしても18人までが妥当な人数と考える。

(5) 20人 2人

ア 議員定数削減が、国会から地方議会まで取り上げられ、議員定数削減が議会改革のように報道されている。幅広い市民の声を議会に届け、二元代表制としての議会のチェック機能を果たすためには、現在の定数は必要である。議員定数削減ではなく、議員の資質向上こそ求められます。そのことが、住民福祉の向上にもつながる。

イ 議員定数の問題には、市民の声は声として、もう少し議員間での真剣な議論をしなければならない問題である。議員定数の考え方には、市民の代表だという観点では、本来市民の年齢層、性別、職業、各地域から選ばれた議員であることが望ましいが、単に人口減少によってのみ議員定数を決めることには、もう少し議論を要するのではないかと思う。市民から、議員の活動が見えない、高い報酬をもらっているとの声も聞かれるが、市議会議員の数が多すぎる、報酬を下げるべきとの声があるのも事実である。定数を減らすことに市民が賛同に走るのは、反面私たち議会を信頼していないから、あるいは、議会はあってもなくても同じだという考え方からきているのかもしれない。ただ、行政改革や経費節減といった理由のみからではなく、人口・面積や地域等に応じた住民の多様なニーズや意思を正確に捉えることが必要であり、議会が民意を集約するためにも、今回は現状維持が望ましいと思う。

(6) 25人 1人

議員定数を削減すると、次世代を担う若い世代の方が議員になろうと思わなくなる。議員の定数が多いと、より知恵も良い知恵がたくさん出て、議会が活発になると思う。